

運営推進会議事録

事業所名	名称：エイプレイス中野	
サービス種類	サービス種類：定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
開催日時	2026年6月16日（第6回）14:00～15:40	
開催場所	桃園区民活動センター	
出席者内訳	上高田訪問看護ステーション I 様 ケア21中野 I 様 こ・こけあ中野居宅介護支援事業所 M様 サルスケア訪問看護ステーション U様 城西診療所 A様 しらさぎ介護保険センター A様 スマイルプラン A様 中野地域包括支援センター S 様 訪問看護スターはな中野 K様 みつば居宅介護支援事業所 M様 みやびハート&クリニック K様 エイプレイス中野 秦 エイプレイス中野 和田 エイプレイス中野 荒井 エイプレイス中野 上野	
議題・課題	●グループディスカッション 「どの職種が最初に気づくか」 「誰へ連絡する？どの情報がほしい？」 「定期巡回に期待することは？」 の議題について、2グループに分かれて約40分ほどディスカッションを行う。	

報告事項	●定期巡回サービス概要説明 会社概要 2012 年に設立。 本社は南口の駅前にあるオフィス(2024 年 8 月に新宿から中野へ移転)。 中野事業所は 2024 年 12 月にオープンし、1 年が経過。 他拠点として新宿区、北区、渋谷区、埼玉県川口市、神奈川県川崎市にあり、全ての拠点で定期巡回サービスを中心に展開している。 サービス設立の背景 内閣府の高齢社会白書によれば、要介護状態になっても自宅で生活し、最期を迎えたいと望む高齢者が多数を占めるが、実際は病院で亡くなるケースが多い。 頻回な訪問系サービスを利用する人ほど施設入所の割合が下がる傾向があり、頻回訪問が可能な定期巡回は在宅生活の希望と相性が良い。 2040 年以降、独居高齢者が増加するため、地域包括ケアシステムの一環として、重度な要介護状態でも住み慣れた自宅で最後まで暮らせる体制を整える目的で本サービスが作られた サービスの対象者と有効性 既存の訪問介護等を否定するものではなく、対象者の状態に合わせて使い分けることが重要。 特に、頻回なアプローチや高い介護力が必要な方に有効性を発揮する。 定期巡回サービスの機能と特徴 サービスの構成 正式名称は「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」。 定期巡回: 事前に計画した日時に地域を巡回しながらサービスを提供。 随時対応: 24 時間体制のコールセンター（オペレーター）が電話相談に対応。 随時訪問: 電話相談の結果、計画外の訪問が必要な場合に緊急で訪問。 訪問看護: 介護と訪問看護をパッケージで提供。 利用対象と事業所の種類 地域密着型サービスのため、中野区に住所がある要介護 1～5 の方が対象。事業所には「一体型」（看護師が在籍）と「連携型」（地域の訪問看護ステーションと連携）がある。 ※エイプレイスは連携型
-------------	--

	訪問介護との比較と使い分け 制度上の違い 報酬：訪問介護が「1 回いくら」の積み上げ式に対し、定期巡回は月額定額の「包括報酬」。 服薬確認のみの短時間訪問や 1 時間後の再訪問など、柔軟な対応が可能。 計画権限：ケアプランに基づきつつ、計画作成責任者がケアマネージャー等と相談しながら主体的にスケジュールを組む権限が認められている。 サービス提供の考え方 「短時間サービスを複数回」というイメージがあるが、1 回あたりの時間に制限はない。利用者の生活リズムに合わせて必要な支援を行うため、結果的に短時間になる傾向があるだけで、必要に応じて 40～50 分のサービスも可能。 看護師の関わり方（連携型の場合） 医療処置が不要な場合：月 1 回、看護師が訪問しアセスメントを行い、介護側と情報共有。 介護保険での訪問看護が必要な場合：エイプレスと連携契約を結んでいる訪問看護ステーションのみがサービス提供可能。 医療保険での訪問看護が必要な場合：連携契約の有無は問われず、様々な事業所と協力可能。 定期巡回・訪問介護の使い分け 定期巡回：排泄介助や服薬管理など頻回なケアが必要な方、転倒リスクが高い方、独居の方、短期的な支援が必要な方（例：白内障手術後の点眼）、サービス拒否が強い方（安否確認から介入可能）など。 訪問介護：週 3 回の入浴介助などで生活が維持できる方や、区分支給限度額内で多様なサービスを組み合わせたい方。 夜間対応型訪問介護 夜間帯に特化した緊急時訪問サービス。 訪問介護との併用が可能で、「訪問介護＋夜間対応」という形で 24 時間体制を組む選択肢もある。 サービスの一部委託 基本的に定期巡回と訪問介護の併用は不可だが、長年利用しているヘルパ
--	--

	一の変更を嫌がる場合などに、サービスの一部を地域の訪問介護事業所に委託することが制度上認められている。 ●報告・事例紹介 中野事業所の実績と事例 実績データ（2025 年 12 月～2026 年 5 月） 随時コール 上記期間での随時コールの合計は 148 件 そのうち日中(6~18 時)が 97 件と 1 番多い。 要介護別利用者推移 2025 年 12 月 要介護 1・・・2 名 要介護 2・・・4 名 要介護 3・・・3 名 要介護 4・・・7 名 要介護 5・・・6 名 2026 年 1 月 要介護 1・・・2 名 要介護 2・・・8 名 要介護 3・・・3 名 要介護 4・・・6 名 要介護 5・・・9 名 2026 年 2 月 要介護 1・・・2 名 要介護 2・・・7 名 要介護 3・・・3 名 要介護 4・・・6 名 要介護 5・・・9 名 2026 年 3 月 要介護 1・・・2 名 要介護 2・・・5 名 要介護 3・・・3 名 要介護 4・・・7 名 要介護 5・・・10 名 2026 年 4 月 要介護 1・・・2 名 要介護 2・・・4 名 要介護 3・・・3 名 要介護 4・・・5 名 要介護 5・・・9 名 2026 年 5 月 要介護 1・・・2 名 要介護 2・・・5 名 要介護 3・・・6 名 要介護 4・・・4 名 要介護 5・・・8 名 時間帯別実績 8 時、12 時、18~20 時が件数としては多い傾向にある。 食事や服薬に合わせた訪問が多い。 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に多い主な利用者像
--	--

	要介護 1~2 服薬や点眼が毎日必要だが、認知症があり管理が曖昧 日中独居なので昼の配膳と水分補給をしてほしい 家族の就労時間が不規則なので長時間不在時に訪問をお願いしたい 要介護 2~3 食事がきちんと摂れているかいるか複数回訪問し様子を見てほしい 急激に ADL が低下したが一時的なものか不明なので一旦定期巡回で様子を見たい 末期がんで今は比較的元気だが、今後 ADL が低下する可能性が高い。その為状態に合わせ柔軟に対応してほしい 体調に変動のあるパーキンソン病で服薬の確認が必須。動けない時に随時訪問で助けてほしい 要介護 3~4 家族の介護力に不安があり、転倒や排便時にコールで対応してほしい 要介護 4~5 退院後、ADL が低下したので生活全般に見守りが必要。一旦定期巡回で様子を見てほしい(定期巡回卒業も視野に入れて) 独居の為生活全般に支援が必要。買い物・掃除を含め見てほしい ターミナルケアで 1 日複数回、排泄介助と安否確認をしてほしい ●事例紹介 ①夜間転倒した際に朝まで待っていた方にどう定期巡回が関わったか ・利用者 S 様 ・要介護 1 ・既往歴：後縦靱帯骨化症 ・独居 ・訪問診療月 2 回、訪問看護週 1 回 ・手足のしびれや歩行障害から車椅子からのずり落ちが発生、自治会の人に助けてもらうことがあった。朝までそのままだったこともあり定期巡回を導入することとなった ・1 日 1 回の訪問と緊急対応、電話対応でスタート ・体調不良時には 3 回に訪問を増加して対応 ・最終的には入院され、サービス終了
--	--

	・精神的な不安は電話にて解消されていた ・状態の悪化時にスムーズに増回することができた ・在宅中は定期巡回にて支えることができた ②施設入所までの間、自宅で過ごしたいにどう定期巡回が関わったか ・利用者 M 様 ・要介護、94 歳女性 ・大体骨折の為入院中 ・家族、息子様と 2 人暮らし ・特養入所が決定しているが息子様が一旦は自宅に帰したいと強い希望。 ・ADL は全介助でベッド上 ・息子様は介護の認識が乏しい ・1 日 4 回＋必要時に随時訪問を行う ・支援内容は主に排泄介助、体位変換、食事介助、服薬介助、適宜更衣介助や清拭を行う ・施設入所までの間「家で少しでも過ごしたい」というご利用者様と息子様の思いを達成できた
要望、意見 及び助言等	●質疑応答 サルスケア訪問看護 U 様 Q エイプレイスに看護資格を所持している職員がいるが、そのなかで介護と看護で役割を分けているか A 介護士として就業している為、医療行為を実施することはない Q 定期巡回で経鼻・経管栄養を実施することは可能か A 基準上可能ではあるが、資格を保持している人員を 24 時間配置するのが困難の為、エイプレイスとしては行っていない Q 基準上は何度でも訪問可能であると思うが、回数はどのように決定しているか A エイプレイスでは利用者の状況によって訪問回数を決定している。決定の際にはなぜその回数、時間で訪問が必要なのかの根拠も大切にしている。 Q 退院当日より介入することは可能か A 可能

参考様式 3

	Q 施設入所の利用で、入居日当日も訪問する事は可能か A 可能
その他 必要な事項	次回の開催が R8.11 月という事をお知らせする